

**コロナ禍における登録団体の活動状況と
「まちサポひろば」に関するアンケート調査結果**

令和2年8月15日

しろい市民まちづくりサポートセンター

1.目的

団体活動の維持・継続・再開を迷っている団体、活動再開の課題を模索中の団体、新たな取り組みや工夫した活動を実践している団体等、登録団体の実情により、様々な状況にあります。

こうしたことから、コロナ禍における団体活動の状況や今後の活動見通し等や今年度の交流事業「まちサポひろば」の開催について意見や意向を確認しました。

本調査は回答を統計的に集計し、その結果を登録団体に報告し、登録団体間で活動状況や今後の活動見通し等について情報共有を図るとともに、今後の団体活動の維持・継続・再開に活かすことを目的に実施しました。

2.実施方法

2020年7月1日現在のしろい市民まちづくりサポートセンター登録団体95団体へ送付

3.回収数

- ①回収団体数64団体
- ②回答率:67.4% (64団体／95団体)

4.集計

しろい市民まちづくりサポートセンター

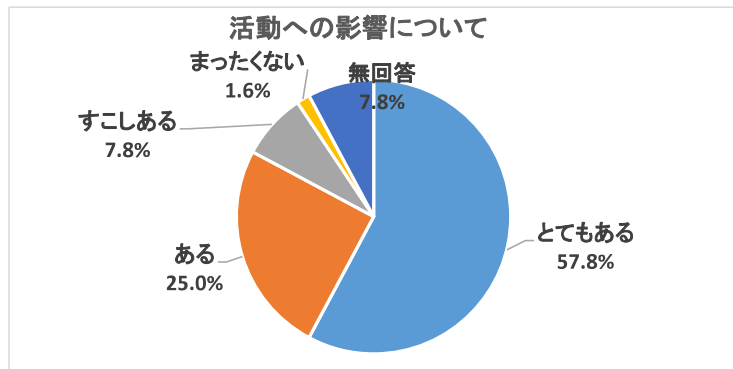
5.調査結果の見方

- ①集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- ②回答(%)は、その質問の回答団体数を基数として算出しています。したがって複数回答の設問は全てを合計すると100.0%を超えることがあります。

コロナ禍における貴団体の活動についておたずねします。

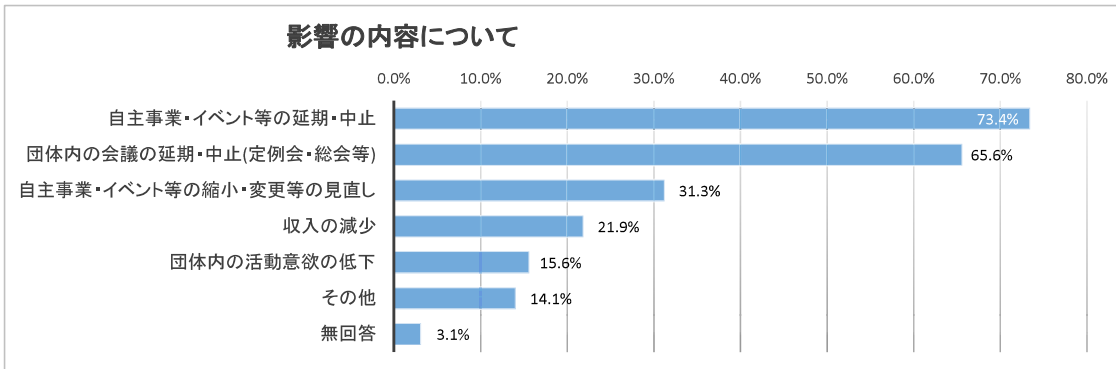
質問1 活動への影響について【1つだけ回答】

とてもある	ある	すこしある	まったくない	無回答
57.8%	25.0%	7.8%	1.6%	7.8%
37	16	5	1	5



質問2 影響の内容について【複数回答可】*コメントあり

自主事業・イベント等の延期・中止	団体内の会議の延期・中止(定例会・総会)	自主事業・イベント等の縮小・変更等の見直し	収入の減少	団体内の活動意欲の低下	その他	無回答
73.4%	65.6%	31.3%	21.9%	15.6%	14.1%	3.1%
47	42	20	14	10	9	2

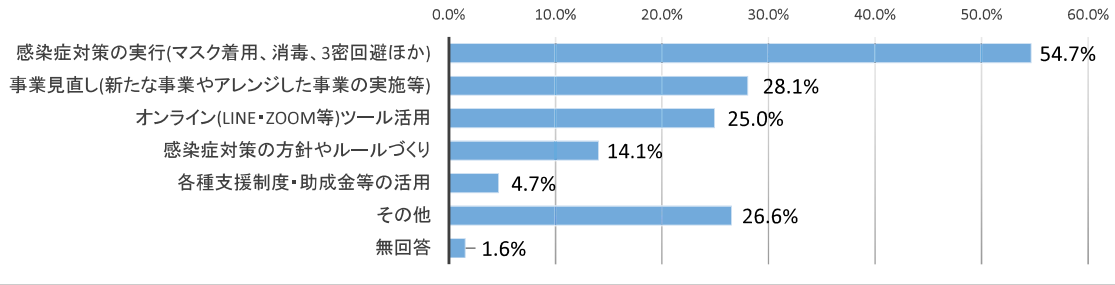


事業縮小変更	フェスティバル、定期総会、講演会、交流ツアーなどの中止・延期、広報誌の休刊。 一般参加の募集ができなくなり、会員のみの活動も外での活動のみに限定された。 参加者が少ないため。 講演会規模縮小、感染予防対策。
収入減少	イベントの売り上げが無くなった。受講者減少にて語学教室の年会費・受講料収入の大幅な減少。 例年どおりの活動が難しいため、月会費を減額したため収入が減少した。 回想法スクールの中止による。
活動意欲低下	全般的に意欲の低下は見えない。Zoom利用での講義の継続や公民館の再開に応じて順次開講。イベント開催担当者の持ち手無沙汰感は大い。 顔合わせができないことで、意欲の低下。 コロナ禍に対しての対応が入それぞれで、集まって活動することに消極的な会員もいる。 コロナ感染の恐れ
その他	年次定例会の会議室確保が不可となり、議案書と総会用ハガキを自宅郵送し書面採決を行った。 寺子屋は6月から再開(月1回) 毎月、会員の近況は把握。役員は必要により少人数で臨時会合を実施。 総会資料の印刷ができず、電子メール添付で配布した。会員が一同に会しての総会開催ができず、非常事態のなか会則にない形で議案の承認を求めた。 活動が委縮してきていて、従来のように進められない。 対面総会から書面総会に変更(出席予定者には個別に事情説明し書面採決) 役員会(25名)の会場(桜台センター研修室)が再開したが、入室制限のため、15人に絞って開催。重要事項は書面表決にしている。

質問3 活動を維持・継続・再開するために実践した「新たな取り組み」や「工夫した活動」について【複数回答可】

感染症対策の実行(マスク着用、消毒、3密回避ほか)	事業見直し(新たな事業やアレンジした事業の実施等)	オンライン(LINE・Zoom等)ツール活用	感染症対策の方針やルールづくり	各種支援制度・助成金等の活用	その他	無回答
54.7%	28.1%	25.0%	14.1%	4.7%	26.6%	1.6%
35	18	16	9	3	17	1

活動を維持・継続・再開するために実践した「新たな取り組み」や「工夫した活動」



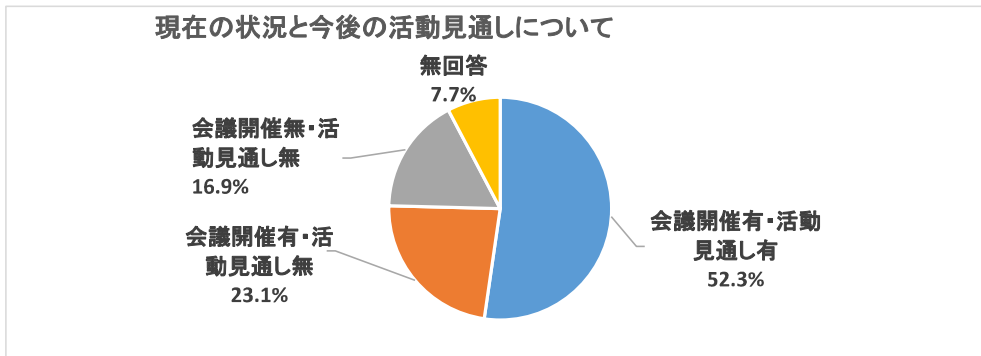
各種支援制度・助成金等の活用 V連(社会福祉協議会)より福祉活動補助金をいただきました。

事業見直し(新たな事業やアレンジした事業の実施等) 交流ツアー・講演会は来年度へ順延。交流会・料理教室などは秋以降の開催企画。
公園と自治会周辺道路のごみ拾いを中止し自治会周辺の有志による除草に変更して企画(ただし雨で延期)。
例年一般参加を募集して行っていた企画を会員限定にした。
主催事業の開催時期の見直しを検討中。開催時期に合わせた企画内容になる予定。運営会議が行われていないため、詳細は未定。また、所属する団体の活動も、縮小傾向にあるため、今後のコロナ感染対策を見ながら事業内容を検討中。
直接訪問し、話し相手となる活動のため、休止となった。電話での対応で可能な相手に対してのみ担当者が定期的に連絡をとっている。
対話量の少ないプログラムへの変更。

その他 PCメール対応者1名にて、電話や面談しか手段がない。
季節ごとのウォーキングを縮小、都心には向かわず近郊で行うことにする。
除草作業は全員集合が原則のところ、個人活動(時刻の指定なし)の作業を多く取り入れ、集合作業を避けた。
会員間の情報共有はメール、電話、面談(特定者間)などで実施。オンラインツール活用は会員の通信機器環境が整わず実現できていない。
講演会をWebセミナーとして開催することを検討中。
高齢者が多いので感染予防を徹底する。
集会所、掲示板が無いため、4月～回覧自粛の対応として、ゴミ集積所に書面総会の結果など5～6項目を簡単な内容で掲示をした。6月～桜台センター再開により、役員会を開始したが、入室制限のため、各業務グループリーダーによるリーダー会議とした。重要事項は書面表決
危険性の低い屋外での活動、例えば児童公園の清掃活動に力を入れています。

質問4 現在の状況と今後の活動見通しについて【1つだけ回答】

会議開催有・活動見通し有	会議開催有・活動見通し無	会議開催無・活動見通し無	無回答
52.3%	23.1%	16.9%	7.7%
34	15	11	5



会議開催無・活動見直し無	会員の近況確認はメール/電話で実施。役員は必要により、少人数で臨時会合を実施。
会議開催有・活動見直し無	<p>5月より月2回の例会を、必要に応じて再開、7月から新年度に(7月～6月)に入ることから、今後検討。 役員会は施設の再開に伴い開催。ラジオ体操。サマーフェスティバル・餅つきなど実施未定。 総会、ふれあい広場、ボランティアまつり、視察研修などが中止となっている。 7月に入り、様子を見たが、コロナの広がりが収まらず、総会もできない状態。高齢者の会員が多く、パソコンでの対応も難しいため、紙媒体で作成し、送付、回答を送ってもらう形になると思う。活動についても構築した関係性が分断するケースが出てきている。認知症の方に対して何が出来るのかケースを個々に考えたいと思っている。 親睦的なイベントは当面自粛し、待ったなしの「防災・防犯関係活動」に絞って実施する。防災訓練(手法・時期は今後検討)、避難体制の見直し、他。 12月までは活動出来ないだろうと活動は中止はしている。 メール・オンラインにて意見交換やShiroi8ライブラリーとして、お勧めの本・映画・曲・便利なアプリの紹介をしています。 本年度役員(33名)全員での会議は一度も行っていません。代表者(各部長)約10名のみ出席の会議を月1回行っています。</p>
会議開催有・活動見直し有	<p>6月から定例役員会を開催。今後の見直しはある程度立っている。 集会場使用不可。屋外活動の美化活動と屋外運動のみ継続。 次回ウォーキングはアンデルセン公園をターゲットに秋頃実施予定。年一回の健康講座は時間の圧縮、人数を絞り込みで11月中旬に実施予定。 3～6月迄・定例会(月)中止せざるを得なくなり、対応はTEL、メール等で行った。週1回の役員会で対応している。 月例会は会議場入場人数に制限あるが、出席者が制限を超える場合、コロナ重症化が懸念される年配者には欠席してもらうことで会員了解。 事務局会議を定例で開催し、年度内の行事の遂行を目指している。 定例会を開催できているが、会員の参加率が下がった。 月2回の会議を1回にし、Zoomの利用もしている。今年度は会員のみで行う。外遊びを中心にしている子育て支援のどんぐりクラブは継続して行う。 公民館が閉館にならなければ、ピースサロンを開催する。(DVD視聴・懇談会 学習会など) 月例会に当って開催するか否か、モデルの着衣か裸婦かを感染状況に応じて参加者の意見で決めていく。 講演会実施。コラージュ等を活用したコミュニケーション。 会議室での会議は人数制限があるので行っていないが、その代わりにメールでやり取りをしている。 リモート会議を行っている。実際の会議も行う予定。 今まで通り月1回の会合(テーブル花作り)をし、出来れば身近な一人暮らしの方や、介護施設へも置いていただけたらと思っています。</p>

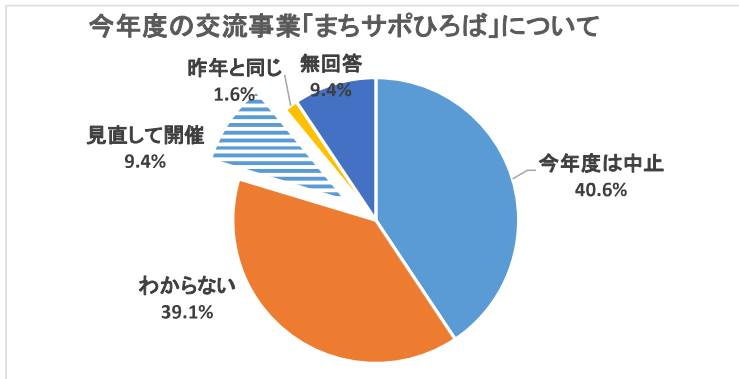
質問5 コロナ禍における団体活動の維持・継続・再開のために、まちサポに相談したいこと【任意:自由回答】

まちサポに相談したいこと	公民館施設などからのズームミーティングの様な仕組み作り。PC、スマホを持っていない人参加できる場作りが重 オンライン会議、Webセミナー会議検討に向けて体験会の開催してほしい。今後、施設使用不可の場合オンラインで 実施してほしい。
	会議室の継続解放。
	市の施設の使用再開できるよう、市役所に働きかけていただきたい。児童館も同様に感染対策を実施すること。 会期再開の折には、優先的に利用可能としたい。
	来年度の事業継続申請について、寛大なものにしていただき受け入れてほしい。(施設利用減免)
	使用会場の変更を提示してもらい助かった。
	関心度の高い市民が集う市の出先機関への行事案内チラシ・ポスターの配布、掲示を市の担当課から実施する。 ユーチューブ用に撮影した動画を「しろいチャンネル」へアップできるようつないでほしい。
	市からの「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に従い会議棟運営を行っているところであり、1会議室から2 会議室を使用して3密にならないようにしています。
	リモート配信とかできるでしょうか?
	印刷機使用禁止は困った。いろいろなコロナ防止基準を設けてこの基準に対応できる対象者は使用できるよう願 いする。
	会員の高齢化により、人的交流のイベントを活発に活動するには限界が在る。例えば、映像を使い、団体の活動を 紹介、広報するような形であれば参加できる。ラーバンネットが駅施設で常に放映しているように。
	PC操作、Zoomを活用してのオンライン授業を感染を講じたうえで、会議室で勉強会を開いてほしい。
	PCを持っているが、自宅でのオンラインが進まないために、Zoomが出来ないという基本的な部分で進まない。PC サークルだけでは難しい。
	現状では感染拡大防止(クラスター防止)を優先すべきと考えます。防止することが住民を守り、また医療従事者へ 私たちができる援助と考えます。(感染機会をなくす)
	定期的な会員向けに情報発信をしていきたいので、コロナ影響下でも活動されている各団体の取り組み等 情報提 供頂ければと。
	コロナ以前の定員で広い部屋を借りなければならない場合、その差額は免除して欲しいです。
	掲示板の設置(戸建て住宅で、集会所がないため)。少人数(4人以内)での簡単なミーティング場所の提供 他団体の活動状況を知り、活動に生かしたい。オンライン会議のやり方に付き、ご指導ください。 活動仲間、活動対象者も高齢者なのでコロナが終息するまで中止の方向である。

今年度の「まちサポひろば」の開催についておたずねします。

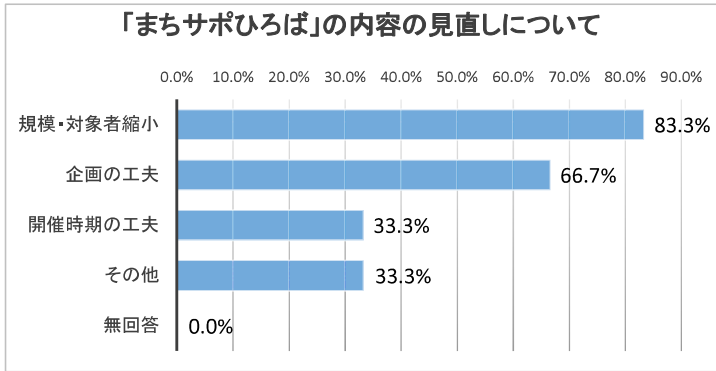
質問6 今年度の交流事業「まちサポひろば」について【1つだけ回答】

今年度は中止	わからない	見直して開催	昨年と同じ	無回答
40.6%	39.1%	9.4%	1.6%	9.4%
26	25	6	1	6



質問7 「まちサポひろば」の内容の見直しについて【複数回答可】

規模・対象者縮小	企画の工夫	開催時期の工夫	その他	無回答
83.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
5	4	2	2	0



規模・対象者縮小	市の状況からみて昨年と同じ規模は無理であり、各団体・サークルの活動意見交換会を3ヵ月～6ヵ月に1回開催し、情報の共有化を計る。まちサポサークル団体の情報交換会1回2時間程度で。 参加団体のサークル活動と市民活動の区分。
----------	--

開催時期の工夫	一般市民への市民活動団体の紹介と市民活動の内容のPR。
---------	-----------------------------

企画の工夫	サークル・団体の会員内の発表会的事業の見直し、一般市民が市民活動の必要性和参加の意義を訴える工夫が必要。
-------	--

その他	デジタルトランスフォーメーション型「まちサポひろば」を提案します。すなわち、昨年度の内容をベースとして、①展示・発表など発信可能な活動をデジタルシステムで提供し、意見を収集する。さらに②準ライブ討議はオンラインツールを③集合型討議は、最小規模での会合を併用する。 一般市民が参加(来場)するPR方法と～内向けのポイントを再考、ブース配置と内容(団体ごとの)を考えることも必要だと思えます。
-----	---

質問8 今年度「まちサポひろば」を開催することになった場合の参加意向【1つだけ回答】

参加する	内容により判断	参加しない	わからない	無回答
20.3%	32.8%	17.2%	23.4%	6.3%
13	21	11	15	4

